

2025 年度入学 AO・学内 AO 入学試験(1 期) 小論文課題

千葉商科大学大学院
会計ファイナンス研究科

次の 3 つの課題(I、II、III)から 1 題を選んで解答しなさい。

I 「会計に関する課題」

以下の問題 A か問題 B のいずれかを選択して解答しなさい。なお、問題 A と B のどちらを選択したか冒頭に必ず明示すること。

問題 A

別添の資料1を読んで以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①に関して、「照合」と「比較」の相違はどのようなものと述べられているか、説明しなさい。
2. 下線部②に関して、二種類の「照合」とはそれぞれどのようなものと述べられているか説明するとともに、現実の会計においては具体的にどのような作業がそれぞれの「照合」手続に該当すると考えられるか答えなさい。
3. 下線部②に関して、「記録と実際の照合」は一致しないことも少なくないと述べられているが、それは何故か具体例を挙げて説明しなさい。
4. 下線部③に関して、筆者が想定する「記録と実際の照合」に際して現存する財産を実際に調査するということと「実地棚卸」の相違が述べられているが、具体的に何が異なってくると考えられるか、例を挙げて説明しなさい。

問題 B

リース会計について、日本基準の改正が企業会計基準委員会で議決されました。

(別添の資料2「リース会計、国際水準に」、資料3「リース会計」、資料4「新リース基準、適用広く 計上対象、契約形式問わず」2024 年 9 月 4 日、日本経済新聞)。

これに関連して、以下の問に答えなさい。

【次ページに続く】

1. 現行の日本基準における、リースの種類とその会計処理について述べなさい。
2. 改正後のリース取引について、どのような会計処理になるのか述べなさい。
3. リース取引自体は同じでも、会計処理が改正の影響を受けて変わることになりますが、なぜこのような改正を行うのかについて述べなさい。

II 「法律(税法・会社法・その他関連法)に関する課題」

別添資料5の新聞記事(2024年9月10日付『日本経済新聞』朝刊・出題の関係上記事の一部抜粋としている)を参考にして、①「源泉徴収制度の意義」を考察した上で、②「給与所得の年末調整を廃止すべきか否か」を論じなさい。

III 「ファイナンス・その他時事問題に関する課題」

令和6年6月3日付国土交通省によるプレスリリースによると、道路車両運送法上自動車やそのエンジン等の大量生産に必要となる型式指定を受けるための申請において、これに添付される衝突試験、出力試験等の試験について虚偽の試験データの提出や試験車両の不正加工等の不正があった旨の社内調査結果の報告が、トヨタ自動車、マツダ、ヤマハ発動機、本田技研工業、スズキの自動車メーカー等の各社から、同省に対し行われたことが公表され、またこれを受けての同日付NHKの報道によると、マツダにおいては2014年から同様の不正行為がおこなわれていたと報道されている。

以上の事案について、次の各問に答えなさい。

1. こうした不正行為が、なぜ行われたと考えますか。
2. こうした不正行為が、なぜ社内で放置されたと考えますか。
3. 小問1および2の考察結果を踏まえて、その改善策を論じなさい。

※別添資料は、著作権保護された素材（新聞記事等）を含むため、
掲載しておりません。